大雨と雷及び突風に関する気象情報（気象庁）：平成３０年７月５日１１時０６分　気象庁予報部発表

気象庁の発表によれば、東日本から西日本ではこれまでの大雨で地盤が緩んでいる所があり、来週８日頃にかけて雷を伴って非常に激しい雨が降るため、広い範囲で大雨となる予報をだしました。。**土砂災害に厳重に警戒してください。山や崖が近くにある場合、速やかに離れるようにしてください。**また、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意してください。6日は、関西首都圏の鉄道各社で朝から運休になる可能性がありますので、外出は控えてください。

［防災事項］

＜大雨・雷・突風＞

　台風7号の影響で、これまでの大雨で地盤が緩んでいる所があります。東日本から西日本では６日にかけて１時間に５０ミリ以上の雷を伴った非常に激しい雨が降り、**８日頃**にかけて広い範囲で大雨となるでしょう。北日本では５日夕方にかけて１時間に３０ミリ以上の激しい雨が降り、記録的な大雨となる見込みです。十分に気を付けてください。



　６日１２時までの２４時間に予想される雨量

（日本の地域名：<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/en/tourist.html>）

　　東海地方　　　　　　　　　　　　　　４５０ミリ

　　四国地方　　　　　　　　　　　　　　４００ミリ

　　近畿地方　　　　　　　　　　　　　　３５０ミリ

　　関東甲信地方　　　　　　　　　　　　３００ミリ

　　北陸地方、九州南部　　　　　　　　　２５０ミリ

　　九州北部地方　　　　　　　　　　　　２００ミリ

　　中国地方　　　　　　　　　　　　　　１５０ミリ

　　東北地方　　　　　　　　　　　　　　　８０ミリ

　　北海道地方　　　　　　　　　　　　　　６０ミリ

　＊ご自分のいる場所を確認し、無理をしないでください。

その後７日１２時までの２４時間に予想される雨量は、いずれも多い所で

　　・東海地方、四国地方は、３００から４００ミリ

　　・北陸地方、関東甲信地方、近畿地方、九州北部地方、九州南部は、２００から３００ミリ

の見込みです。

　土砂災害に厳重に警戒し、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒してください。また、西日本や東日本では落雷や竜巻などの激しい突風に注意してください。

　発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。